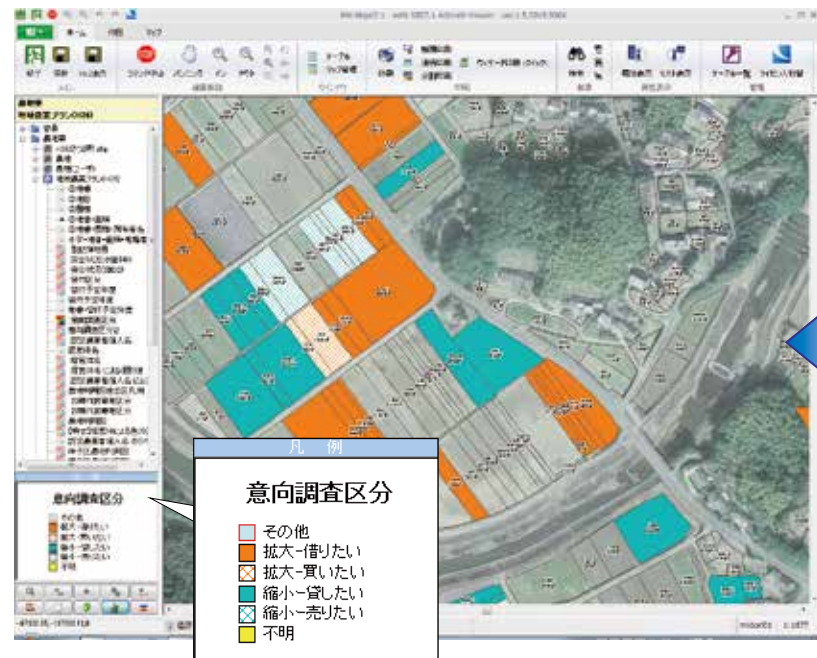


GIS技術で各業務への活用を支援します

事業計画の策定・農地集積に活用



農業経営に関するアンケート

Q1 あなた自身の経営形態を教えてください。

①個人経営
 ②家族経営
 ③法人経営

Q2 現在行っている農業について教えてください。(複数回答可)

①自分の土地で耕作している
 ②農地を借りて耕作している
 ③農地を貸している (A、地区内の人に貸している B、地区外の人に貸している)

Q3 今後の経営に対する、あなたの考えを教えてください。(①~⑤から1つ選択して下さい)

①規模を拡大したい (拡大したい品目: 水稲 (20 a))

②農地の買入れ
 ③農地の借入れ
 ④農作業の受託 (受託する作業内容:)
 ⑤その他 ()

②規模を縮小していきたい (縮小したい品目:) (a))

1. 規模縮小後もしくは農業をやめた後は、農地をどのようにしたいとお考えですか。

⑥売りたい (A、所有地の全部 B、所有地の一部 (a))
 ⑦貸したい (A、所有地の全部 B、所有地の一部 (a))
 ⑧作業を委託したい
 ⑨その他 ()

③すでに農業をやめて、農地はすべて貸している
 ④その他 ()

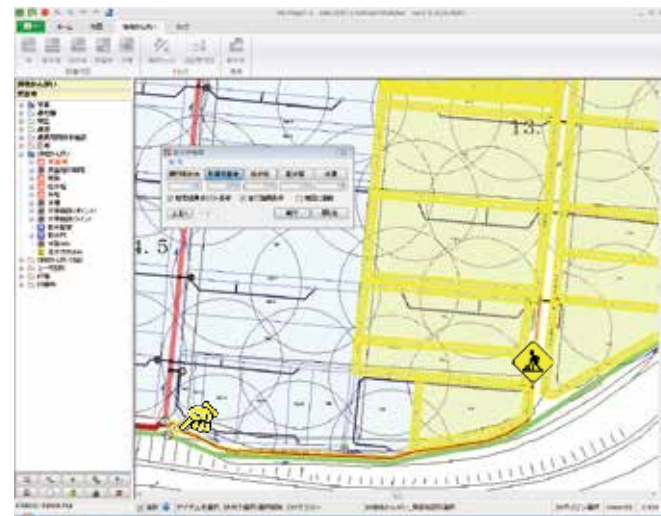
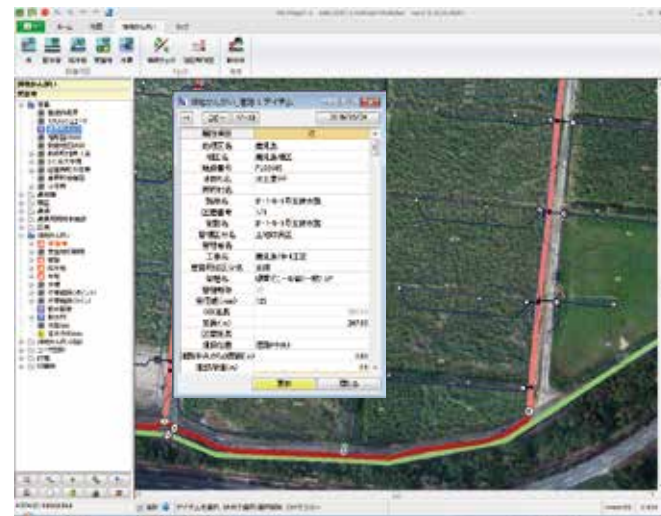
期待される効果

- 農地の所有者、耕作者の意向を地図として可視化することで、事業計画時の同意徴収作業の効率化が期待できます。また、計画変更までの地区の編入除外等の管理も行えます。
- 農地利用集積計画に活用することで、農地利用の最適化が期待できます。

畑地かんがい施設の管理に活用

[施設の属性確認]

[漏水事故時の影響受益地解析]



期待される効果

- 畑地かんがい施設を整備し「位置情報」「属性情報」「関連情報」を管理することで施設状況の把握が容易になるため、業務の効率化が図れます。
- 漏水事故時の影響受益地解析等の機能により、維持管理労力の軽減が期待できます。

中山間地域の傾斜度測定に活用

作業の主な内容

傾斜測定

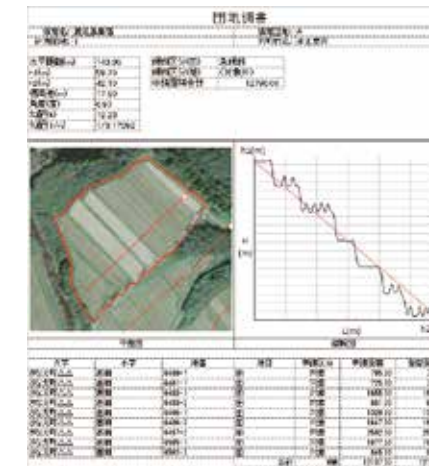
任意のポイントを指示し、それぞれの高さ・延長から角度・勾配・1/nを自動算出できます。



※**超急傾斜地**、**急傾斜地**の把握ができます。
 ※これまでの申請勾配との整合を図ることができます。

1. 団地調書

計測団地毎に勾配算定計算書として、団地調書をエクセルデータで作成



2. 協定区域図の作成

協定区域の区域及び計測区域を表記した位置図の作成



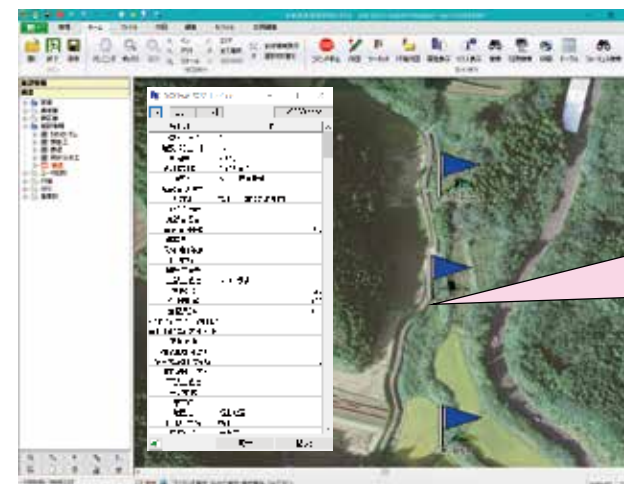
3. 傾斜度測定一覧

協定コード	協定地名	協定地地名	計測団地番号	計測団地ID	面積	団地勾配1/n	区分	超急傾斜	急傾斜	緩傾斜			
7	水土里集落	A	1	水土里集落A1	12,798	8.17	超急傾斜	団地数	面積計	団地数	面積計	団地数	面積計
7	水土里集落	A	2	水土里集落A2	114,443	7.92	超急傾斜						
7	水土里集落	A	3	水土里集落A3	10,216	15.04	急傾斜						
7	水土里集落	B	1	水土里集落B1	4,139	69.88	緩傾斜	2	127,241	1	10,216	1	4,139
小計			3		7	141,586							

土地改良施設の管理に活用

[施設の属性確認]

[関連ファイル(台帳)の閲覧]



期待される効果

- 地図データに施設台帳を関連付けることで、業務の効率化が図れます。
- 施設の点検結果等のデータを蓄積することで、適切な維持管理補修計画の策定などに役立てることができます。

お問い合わせは、水土里情報センターまたは最寄りの事務所・支部まで